

北薩感染症情報

2018年第43週(10月22日~10月28日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1
 北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課
 電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127
 E-メール kita-kenkou-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	5	8	1.14	↗	-	-	-	-	→	-	
小児科定点	RS	-	-	-	2	8	2.00	↗	-	-	1	0.33	↗	-	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	6	23	5.75	↗	◎	3	2	0.67	↓	-	
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	21	22	5.50	↗	-	5	15	5.00	↗	-	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	15	6	1.50	↓	-	4	4	1.33	→	-	
	水痘	7.0	4.0	4.0	-	1	0.25	↗	-	1	-	-	↓	-	
	手足口病	5.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	1	0.33	↗	-	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	-	-	-	→	-	1	-	-	↓	-	
	突発性発疹	-	-	-	5	3	0.75	↓	-	2	-	-	↓	-	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	10	7	1.75	↓	-	1	-	-	↓	-	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	8	2	2.00	↓	-	/	/	/	/	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
インフルエンザ 入院報告	-	-	-	-	-	/	→	-	-	-	/	→	-		
報告数合計		-	-	-	72	80	/	↗	/	17	23	/	↗	/	

<注意報・警報>
 ・川薩保健所管内 咽頭結膜熱(12週連続警報継続中)
 ・出水保健所管内 なし

<全数報告>
 ・川薩保健所管内 結核(患者:肺結核及びその他の結核) 1件, 風しん(患者) 1件
 ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザによる入院患者報告>
 ・川薩保健所管内 なし
 ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>
 ・川薩保健所管内 なし
 ・出水保健所管内 なし

5類定点把握疾患

○インフルエンザ

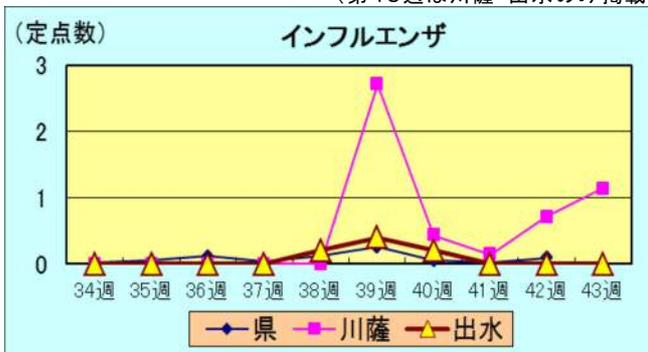
【**警報開始基準値 30.0**, **警報終息基準値 10.0**, **注意報基準値 10.0**】

(第43週は川薩・出水のみ掲載)

第43週のインフルエンザの発生状況は、

川薩保健所管内からは8名(定点当たり報告数 1.14)の報告がありました。

出水保健所管内からの報告はありませんでした。



○感染性胃腸炎について

【**警報開始基準値 20.0**, **警報終息基準値 12.0**】

(第43週は川薩・出水のみ掲載)

第43週の感染性胃腸炎の発生状況は、川薩保健所管内からは6名(定点当たり報告数 1.50)の報告がありました。

出水保健所管内からは4名(定点当たり報告数 1.33)の報告がありました。



(注意報・警報)

○咽頭結膜熱について

【**警報開始基準値 3.0**, **警報終息基準値 1.0**】

(第43週は川薩・出水のみ掲載)

第43週の咽頭結膜熱の発生状況は、川薩保健所管内からは23名(定点当たり報告数 5.75)の報告があり、**警報が12週連続継続中です。**

出水保健所管内からは2名(定点当たり報告数 0.67)の報告がありました。



○流行性角結膜炎について

【**警報開始基準値 8.0**, **警報終息基準値 4.0**】

(第43週は川薩・出水のみ掲載)

第43週の流行性角結膜炎の発生状況は、川薩保健所管内からは2名(定点当たり報告数 2.00)の報告があり、**警報終息基準値 4.0を下回りましたので、警報が解除されました。**



風しん患者発生について

平成30年10月25日に当所管内で今年度、県内初となる風しん患者の発生がありました。

全国的にも風しん患者の発生が拡大しているところであります。

風しんは上気道粘膜より排出されるウイルスが飛沫を介して伝播される飛沫感染です。

風しんに伴う最大の問題は、感受性のある妊娠20週頃までの妊婦が感染したことにより、風しんウイルス感染が胎児におよび先天異常を含む様々な症状を呈する先天性風しん症候群が出現することです。

先天異常として発生するものとしては、先天性心疾患、難聴、白内障、色素性網膜症等が挙げられます。

つきましては、下記の点を参考に、特に妊婦を守る観点から注意喚起をお願いします。

記

- (1) 外出後や食事前の手洗いを徹底しましょう。
- (2) 発熱、発疹、リンパ節腫脹等などの症状から風しんが疑われる場合、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。
- (3) 受診の際は、マスクを着用し、咳エチケットを守るなど、感染を広げないように注意してください。また、公共交通機関等の利用を避けてください。
- (4) 定期予防接種対象の方は忘れずに予防接種を受けましょう。
- (5) 特に次の方のうち、今まで風しんにかかっておらず予防接種を受けたことがない方、風しんの抗体価が十分でないと言われた方などは、任意で予防接種を受けることを検討しましょう。
 - ・ 30代から50代の男性
 - ・ 妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族
 - ・ 10代後半から40代の女性（特に妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方）
- (6) 学校等は集団発生を起こしやすい場であることから、定期接種を受けていない小学生、中学生、高校生、大学生等について接種勧奨を行ってください。
- (7) 職業上感染の拡大の影響のある、医療関係施設、保育施設、学校等においては、予防接種について検討してください。